



高校と大学の接続に関して思うこと ～あるアドミッションセンター教員の独り言～

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



1



鹿児島県
進学指導ステップアップ研究会の
みなさん
お招きいただきありがとうございます

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



2

【概要】14:00-15:20(80分)

- ◆ 今までも、そしてこれからも高校教員にとって生徒への進路指導は非常に重い業務であると推察している。高大接続の実現例として大学訪問や進学説明会、オープンキャンパス等が近年では頻繁に開催されている。生徒の興味に合致した大学・学部に進学してもらうためにこのようなイベントは良い機会になっている側面があるのも事実であろう。また、大学教員の出前講義やSSHの指定を受けている高校においては、大学に依頼して一部事業を実施していたりもする(SGHも?)。
- ◆ 改めてこのような状況を俯瞰してみて、高校と大学の関係は今後どうあるべきなのだろうか。アドミッションセンターの教員として日頃思うところをいくつか紹介し、高校現場におられる皆様のご意見もお聞きかせいただき、将来像を一緒に考えてみたいと思う。
- ◆ また、学部横断型教育として全国的に注目されている九州大学の「21世紀プログラム」についてもその理念や運営方法等を説明し魅力の一端を紹介する。
- ◆ 今回の講演が多少なりとも先生方との考える端緒になれば幸いです。

3

【講演内容(案)】

九州大学

- 01) 九大概要
- 02) 入試概要
- 03) AO入試の性質
- 04) 21世紀プログラム
～学部横断型教育～

高大連携

- 11) オープンキャンパス
- 12) 進学説明会
- 13) 大学訪問: 生徒、PTA
- 14) 出前講義
- 15) SSH (Super Science High School)

その他

- 21) 大学への入学に何を期待するのか
- 22) モチベーションの持たせ方
- 23) 文理選択時期。早期化に対する危惧。
- 24) 「ゆとり世代」、「内向き」という呼称
- 25) 就学援助率と成績の関係
- 91) 研究会、勉強会、意見交換会
- 99) 高校教員への期待

4

当日の提示資料について

- ◆ 今回の研究会参加に関し、いくつかの事項について講演させていただこうと考えております。しかし、先生方のご興味・関心に合うかも判りませんし、ページ数も増えそうですので、資源節約の観点から印刷したものを会場で配布することは控え、当日の提示資料を以下URLに掲載しておくことにしました。
- ◆ お手数ですが、必要に応じてアクセスしていただき、提示資料をダウンロード後必要部分を印刷する等してお使いいただければと思います。

<http://artsci.kyushu-u.ac.jp/~hayashi/hai fu/#Kago1407>

【注:すべて半角文字です】

5

00. 自己紹介

- ◆ (英文学)
- ◆ (工学(機械系))
- ◆ 統計学:
 - ◆ データに内在する構造を見つける、探索する
 - ◆ 諸科学の支援: 医学、工学、農学、心理学、経済学、...
- ◆ 教育工学:
 - ◆ コンサルテーションシステム、学習診断
- ◆ 高等教育論:
 - ◆ 共通試験のあり方、入試・高大接続のあり方、“良い”選抜とは? どうやって評価する?
- ◆ 職場の移動(異動)と共に変化・遷移

6

00. はじめに

- ◆ どのような情報がお役にたてるのであろうか？
- ◆ 大学の入り口に興味がある者の立場で
 - ◆ 入試研究、試験の研究
 - ◆ 高等教育
- ◆ アドミッションセンターも兼務
 - ◆ 高校との接点、SSH運営指導委員、学校関係者評価委員
- ◆ 高大接続に関する話題が提供できれば
 - ◆ いくつかの提案
 - ◆ この5年半の経験から

7

00. はじめに

お約束

- ◆ 大学を代表しての講演ではない
 - ◆ ご紹介できるのは研究者としての個人的な見解
- ◆ この意味でご期待に副えないのかも

8

【講演内容(案)】

九州大学

- 01) 九大概要
- 02) 入試概要
- 03) AO入試の性質
- 04) 21世紀プログラム
～学部横断型教育～

その他

- 21) 大学への入学に何を期待するのか
- 22) モチベーションの持たせ方
- 23) 文理選択時期。早期化に対する危惧。
- 24) 「ゆとり世代」、「内向き」という呼称
- 25) 就学援助率と成績の関係
- 91) 研究会、勉強会、意見交換会
- 99) 高校教員への期待

高大連携

- 11) オープンキャンパス
- 12) 進学説明会
- 13) 大学訪問: 生徒、PTA
- 14) 出前講義
- 15) SSH (Super Science High School)

9

01.

歴史

【大学案内2015: P3】

学部を中心に

1911
九州帝国大学

- 1867 黒田藩医学校 養生館
- 1877 福岡病院
- 1879 福岡県立 福岡医学校附属病院
- 1888 福岡県立 福岡病院
- 1903 京都帝国大学 福岡医科大学

東京、京都、東北
に続く4番目の
帝国大学として

- 1911 九州帝国大学 医科大学、工科大学
- 1919 医学部、工学部、農学部
- 1924 法文学部
- 1939 理学部
- 1947 (旧制) 九州大学
- 1949 (新制) 九州大学 文学部、教育学部、法学部、経済学部
- 1964 薬学部
- 1967 歯学部
- 2003 芸術工学部 (九州芸術工科大学と統合)
- 2004 国立大学法人 九州大学



10

九州大学 概要

総長1・理事8・監事2 計11名

学部 11 (+1)
大学院学府 18

附置研究所等 4
附属図書館 1 (分館6)
(蔵書約400万冊)
病院 1 (約1,200床)
全国共同利用施設 1
学内共同教育研究施設 37
機構 4

2013年5月1日現在

学部学生 11,791名
(女子 3,316名)
大学院生 7,008名
(女子 1,948名)

外国人留学生
1,969名 (83ヶ国・地域)
学生の海外留学 2012年度
412名 (23ヶ国・地域)

教員 2,068名
教授 660名
准教授・講師 721名
助教他 687名
事務・技術職員
2,010名

学部卒業
約13.8万人
修士修了
約4.8万人
博士学位
約2.7万人

土地 約76km²
福岡、長崎、熊本、
大分、宮崎、鹿児島、
北海道



11



伊都(いと)キャンパス 移転場所

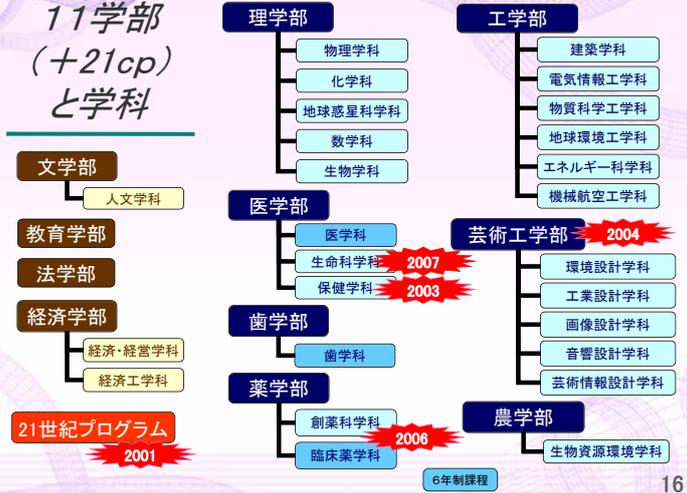


伊都(いと)キャンパス 写真



【大学案内2015: P7~30】

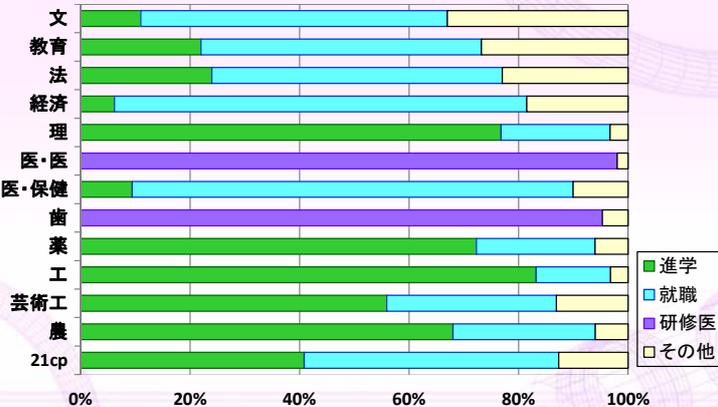
11学部 (+21cp) と学科



【大学案内2015: P7~30】

学部卒業後

H23(2011)年度卒業生



02.

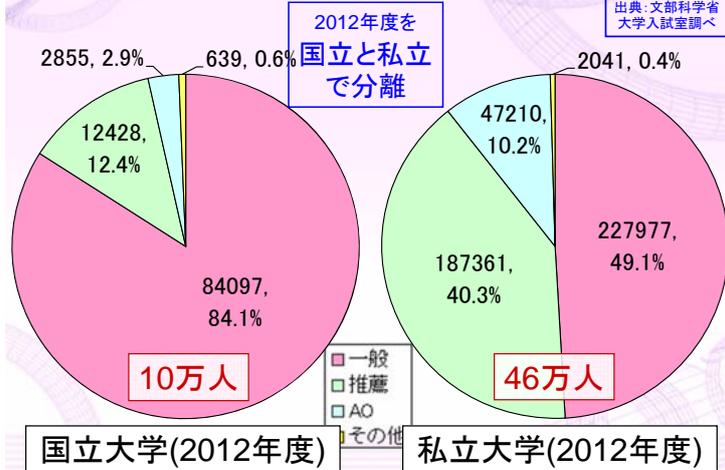
【大学案内2015: P33】

2015年度(平成27年度) 入学者選抜

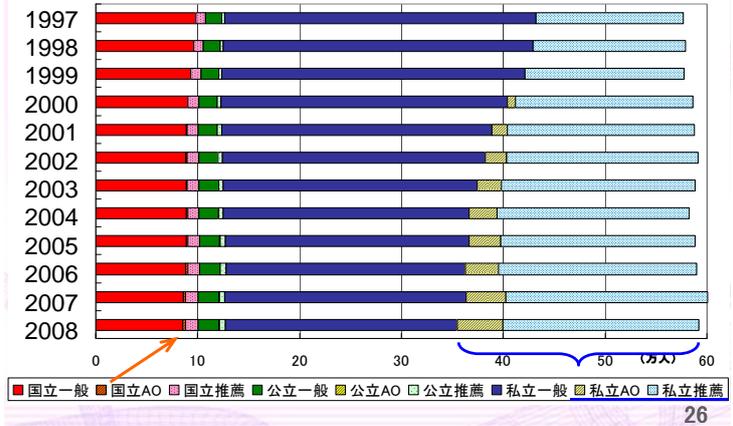


選抜区分別入学者数の割合

出典: 文部科学省
大学入試室調べ



国公立大の選抜区分別入学者数



AO入試: 国立大と私立大

- ◆ AO入試って失敗?? <== 新聞等 (読売2010年1月5日) (産経2012年2月24日) (読売2014年7月9日)
- ◆ 九大の場合: 定員 195名(7.6%)
- ◆ 設置者に因って明らかに異なる
 - ◆ 割合 ==> 次ページ
 - ◆ 試験方法
 - ◆ 導入目的も?
- ◆ 国立大: 「学力不問」ではない
学力も重要な「評価対象」の一つ

AO入試を議論する際は

- ◆ 国公立大学と私立大学とで全く異なると考えてよい
- ◆ アメリカのAO入試とも異なる
 - ◆ 主に事務員(Officer、not 教員)が関与
 - ◆ この中にもいくつかのタイプがあるのかもしれないが
- ◆ AO入試: 同じ名称だが、3つとも違ったものである
 - ◆ 「日本の国公立大学」のAO入試
 - ◆ 「日本の私立大学」のAO入試
 - ◆ 「アメリカ」のAO入試
- ◆ それぞれは区別して議論すべき: 国公立、私立、米
 - ◆ 区別しないと非生産的な議論にしかならない
 - ◆ 「学科試験を課していないから……」はダメ
 - ◆ 「AO入学の学生は……」はダメ。卒業生の訪問時も。

AO入試の利点と欠点

- ◆ 利点
 - ◆ ミスマッチが少ない
 - 両者の理解の下、入学
 - 大学の理解、満足度
 - ◆ 「カナリア効果」: 他の学生への波及効果
 - ◆ 学力に明確な差はない: 前期、後期、AO
 - 渡辺・福島(2008)、「公表データからみるAO入学者の評価」、大学入試研究ジャーナル、No.18。
 - ◆ 学部教員に高校生を見せる
- ◆ 欠点
 - ◆ 手間がかかる: [優秀な学生が確保できる]
 - ◆ 高校側からは対策が立て難い: [そうあるべき!]

九州大学では

AO入試 基礎学力+α

2000年度から、東北大・筑波大と共に国立大初のAO入試としてスタート

- ◆ 一芸・一能入試ではない
- ◆ 学校長の推薦がいらぬ自己出願
- ◆ 認知領域と情意領域を総合的に評価
- ◆ 入学後の修学のため、基礎的学力はしっかり見る
- ◆ 学部のアドミッションポリシーに応じて異なる

情意領域: 意欲や関心
適性 学習意欲 責任感
誠実性 協調性

総合評価

認知領域: 基礎的な学力

問題発見能力
論理的思考力
表現力 理解力 応用力

04. 21世紀プログラム:教育の枠組み

2003年度 文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択



幅広い教養、表現力、国際性を身につけ、チューターの指導を受けつつ、
いろいろな学部の専門を組み合わせで「自分だけの専門」を創る。

【学生募集要項 P1】

The 21st Century Program 理念



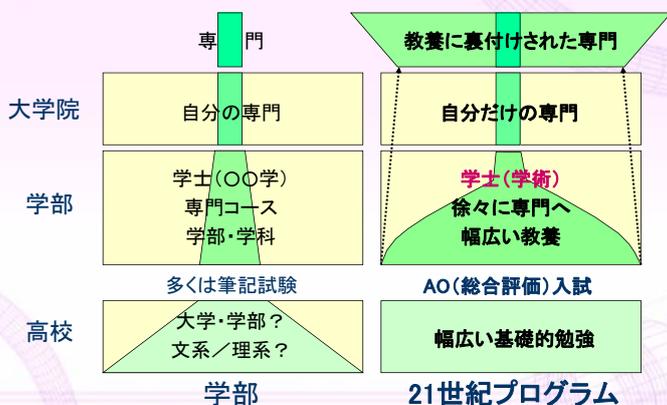
The 21st Century Program 教育の柱

- 1 幅広い教養から専攻テーマ
国際／環境・生命／市民社会／情報
- 2 表現力と国際性
語学力の強化、学年縦断のゼミ、留学の推奨
- 3 **専門性の高いゼネラリスト**
- 4 学生一人ひとりが自分だけのカリキュラム
チューター制度、履修指導と体系性の維持
- 5 学生一人ひとりが自分だけの専門
専門委員会での指導・承認、卒業研究

The 21st Century Program 課程現況

入学期	募集	合格	年度	入学者	転課程学部	卒業者	交換留学	語学研修等
卒業	1期	18	20 (5)	2001	20 (5)	1 (0)		
	2期		22 (6)	2002	22 (6)	2 (1)		
	3期	21	19 (5)	2003	19 (5)	0 (0)	7	20
	4期		25 (5)	2004	25 (5)	1 (1)	16	8
	5期		30 (12)	2005	30 (12)	1 (0)	25	5
	6期		27 (7)	2006	26 (7)	2 (1)	15	2
	7期		27 (9)	2007	26 (8)	2 (1)	20	10
	8期		27 (10)	2008	27 (10)	2 (1)	33	10
	9期	26	28 (7)	2009	27 (7)	1 (0)	28	5
在学	10期		27 (6)	2010	27 (6)	1 (0)	19	11
	11期		25 (8)	2011	25 (8)	0 (0)	27	7
	12期		28 (10)	2012	28 (10)	1 (1)	30	6
	13期		25 (9)	2013	25 (9)	0 (0)	24	13
	14期		25 (5)	2014	25 (5)			8
合計		355(104)		352(103)	14(6)	237	92	88
在学生数	119 (37)	（ ）は男子で内数						

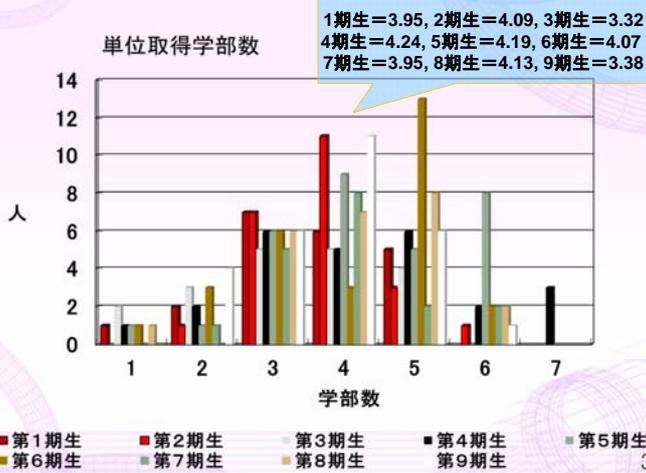
21世紀プログラム 専門を決める



The 21st Century Program 第1期生の履修

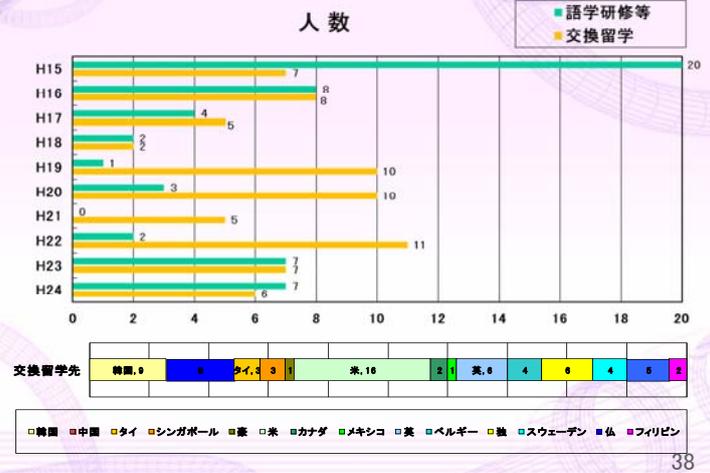
	学生	文	教	法	経	比	理	医	薬	工	芸	農	学部	計	文系	理系
専門型	a	11	44	4									3	59	100	
	b		38	14	2								3	54	100	
	c	6	10	74	6								4	96	100	
	d	7	2	50	2								4	61	100	
	e	2					2						63	3	67	97
	f												49	1	49	100
複合型	g	18			16								2	34	100	
	h	12	22	4									3	38	100	
	i	10	20	4	2								4	36	100	
	j	4	4	6	26								2	5	42	95
	k	23	12		2						2		4	39	95	5
	l	4	2	22	2								2	5	32	94
	m	28	2		10						6		2	5	48	83
	n	10		4	6			10					4	5	34	59
ゼネラリスト型	o	12		4	6							38	4	60	37	63
	p	10			2			4			24		4	40	30	70
	q	8	10	8	14								4	40	100	
	r	14		10	8						2	2	5	36	89	11
	s	4		10	20								8	4	42	79
	t	4	8										21	5	44	27
u	8	14	2				8			25		5	59	44	56	

The 21st Century Program 履修学部数



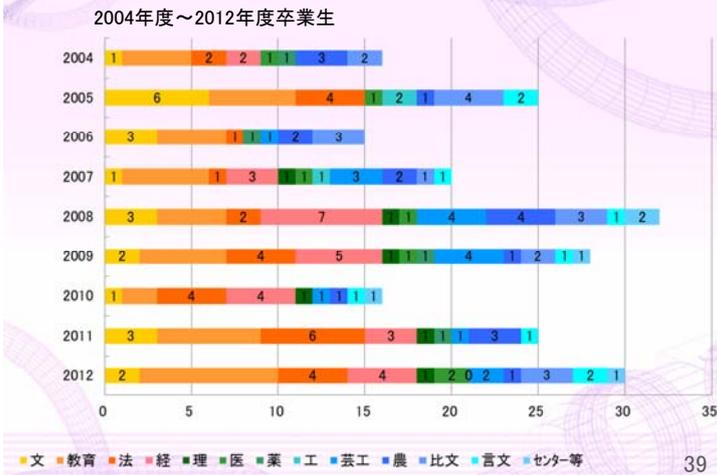
37

The 21st Century Program 留学・語学研修



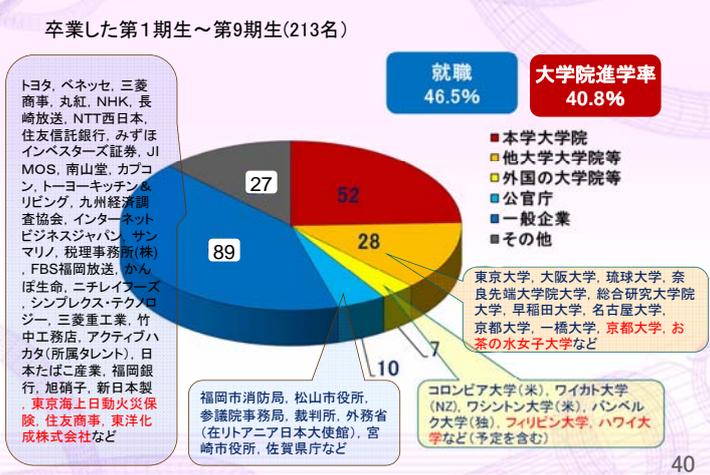
38

The 21st Century Program 卒業研究



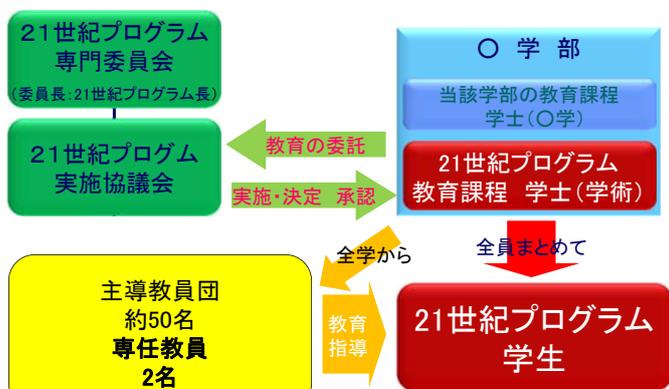
39

The 21st Century Program 卒業生の進路



40

The 21st Century Program 実施の枠組み



九州大学学部通則第16条:各学部(医学部医学科、歯学部及び薬学部臨床薬学科を除く。)に、学部横断型の教育を行うための教育課程として、九州大学21世紀プログラムを置く。

The 21st Century Program カリキュラム

基幹教育科目	単位	年次	専攻教育科目	単位	年次
基幹教育セミナー	1	1	チュートリアル	8	1-4
課題協学科目	5	1	プログラム・ゼミ	16	1-4
言語文化基礎科目	12	1-2	21世紀プログラム英語	3	2
ディシプリン科目	16	1	課題提示科目	8	1-2
健康スポーツ科目	1	1	課題研究	1	2
総合科目他	4	1	専攻テーマに関わる科目	36	2-4
高年次基幹教育科目	2	2-4	卒業研究	4	4
その他	7	2-3	計	76	
計	48		合計	124	

特別科目A・B 社会連携科目A・B

42

パソコン・TV授業システム配備
3・4年次の拠り所

パソコン・TV授業システム配備
1・2年次の活動本拠地

21世紀交流プラザ	
箱崎文系	専用控室1室
箱崎理系 I	(全学共用)
箱崎理系 II	専用控室1室

伊都地区 スクエア21センター1号館2階	
学習室1	
学習室2	
講義室	
セミナー室1	
セミナー室2	
チュートリアル室	



お気軽にお立ち寄りください。ご案内いたします。

- ・センター試験を課さないAO選抜
- ・選抜の過程そのものが入学後の修学課程を模するものである

- ・講義・レポート, 討論, 小論文, 面接
- ・教員とのインターアクションを加える
- ・できるだけ受験生が自由にできる



願書受付	9月下旬	9/22(月)~26(金)
	調査書, 志望理由書, 活動歴報告書	
第1次選抜	10月中旬 書類審査	10/17(金)頃 1次合格発表
第2次選抜	11月上旬	
第1日目	講義・レポート (3コマ)	11/1(土)
第2日目	グループ討論, 小論文, 個人面接	11/2(日)
合格発表	11月下旬	11/25(月) 2次合格発表

選抜の過程が入学後の修学の過程

第1次選抜

- ◆ 出願時提出資料
 - ◆ 志望理由書(2面)
 - 志望する理由、自己の適性や抱負
 - ◆ 調査書等(内申書)
 - ◆ 活動歴報告書(2面): 中学からの活動を記載可
 - 各種活動、表彰、資格等
- ◆ 書類審査
 - ◆ 「AP」や「求める学生像」との合致度合を評価
 - 理念の理解度等
 - ◆ 試験場施設の関係から3倍程度に絞る (14年度の例では80名。3.1倍)

第2次選抜

第1日目(土曜日)

9:30-11:30 講義1・レポート1 (120分)

12:30-14:30 講義2・レポート2 (120分)

15:00-17:00 講義3・レポート3 (120分)



軸が違う3コマ
講義:約50分
レポート:約70分

講義や資料に
英語を含むことがある

第2日目(日曜日)

論題は当日朝に提示(“予習”を避けるため)

9:00-11:30 グループ討論 (150分)

3つの講義から2つを選んで討論

12:30-17:00 小論文 (270分)、個人面接

15分/人

3つの講義のいずれかに関連するテーマを設定して作成

随時別室で休憩可

49

The 21st Century Program 講義

年度	題目
H20 (2008)	1 大学の社会的機能の変化
	2 住民の視点から FROM THE NATIVE'S POINT OF VIEW
	3 薬と遺伝子
H21 (2009)	1 イエズス会士が観た16世紀の日本
	2 原子力損害賠償法を見直すべきか
	3 作物増収の戦略における植物の機能
H22 (2010)	1 読むことの意義
	2 いまどきの「権力」を考える
	3 南極の地球科学と地球環境変動
H23 (2011)	1 日本における死因究明制度
	2 おとぎ話とジェンダー
	3 学ぶことと働くこと
H24 (2012)	1 放射線と健康の科学
	2 歴史 学問と教科の間
	3 民主主義の根底にあるもの
H25 (2013)	1 「邪馬台国」と考古学 一説と考古学の間一
	2 独裁体制はいかに維持されるのか
	3 The Wonder of Water (水の不思議)

楽しく受験することができてよかった
いろいろな方がいてとても楽しかった
心底惚れ込みました。絶対に来たい。
大学の講義を聴いただけでも、受けた甲斐があった...
何の話があるのか興味津々だった
もらった振り子の重りの5円玉は合格のお守りに...



〔参考〕21cp受験者の感想

- 入試すごく楽しかったです。この学部で学びたいという気持がより強まりました。
- とても難しかったです。入試であることも忘れて、講義に集中しました。
- これからの生活にもぜひ活かしていきたい
- 討論に参加できたことがうれしく、そして討論自体も楽しかった
- 講義などはとても楽しく、早く大学生になりたいと思いました。
- 受験と感じないほど明るい雰囲気の中で初めて会った人とも気軽に話ができて楽しかった。
- 結果うんぬんにかかわらず21cpを受けにきて本当によかった
- 私は21世紀プログラムに心底惚れ込みました。
- 私たち受験生のために、会場設営など何から何まで本当にお世話になりました。感謝します。ありがとうございました。
- お忙しい中、試験してくださってありがとうございました！
- 今後も21cpを続けて欲しい。
- 非常に自由な雰囲気でのびのびと受験にのぞむことができました

The 21st Century Program 志願者数の推移



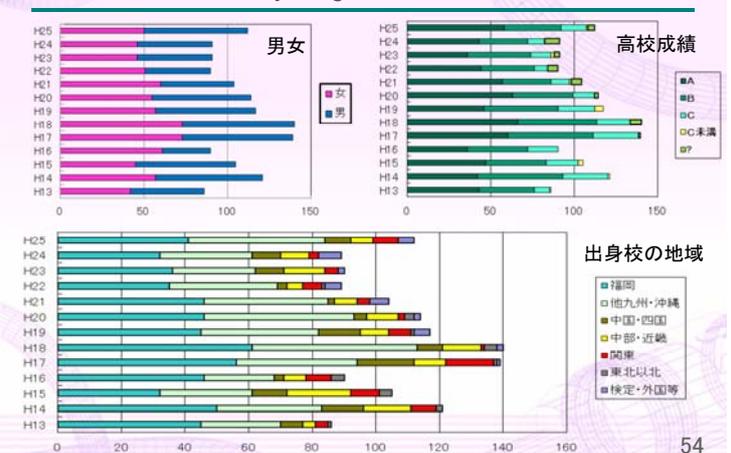
52

選抜のまとめ

- ◆ 非常に手間がかかる
 - ◆ 準備
 - ◆ 委員の選定、確保
 - ◆ 評価方法
 - ◆ 公平性、.....
- ◆ 総合大学ならではの選抜方法
- ◆ 1次と2次に相関はあまりない=悪いことではない
 - ◆ “優秀な”受験生の取りこぼしは1次選抜においては是非とも避けなければならない
- ◆ 志願者を増やす方策を
 - ◆ より一層の広報が必要:オープンキャンパス等
- ◆ “AO入試”という呼称と、その理解のされ方
 - ◆ この点の広報も

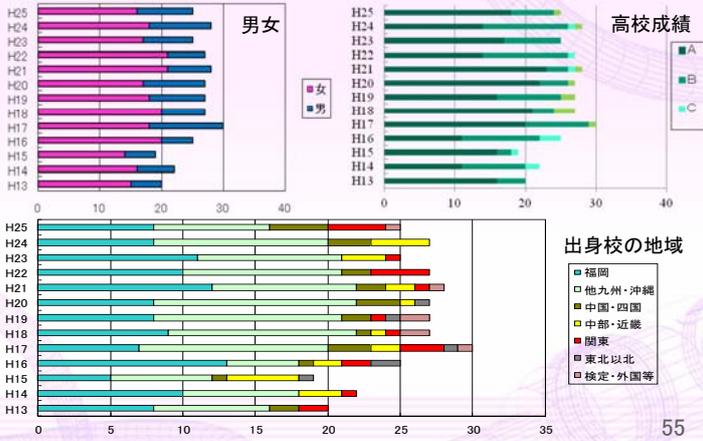
53

The 21st Century Program 志願者の推移



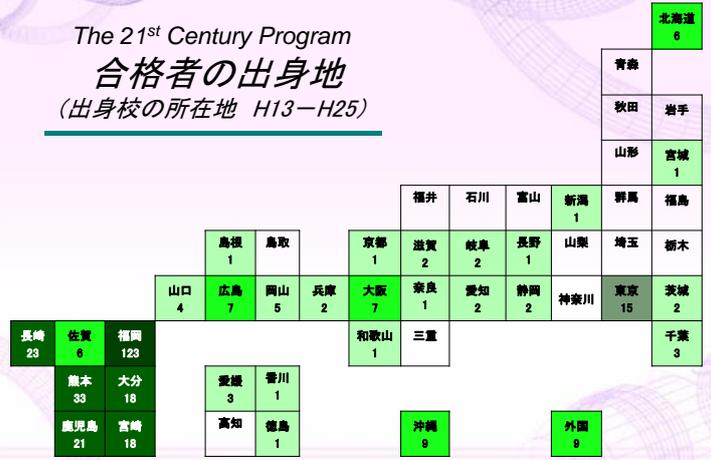
54

The 21st Century Program 合格者の推移



The 21st Century Program

合格者の出身地 (出身校の所在地 H13-H25)



◆ご質問は何なりと



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011
知の世紀を拓く



【講演内容(案)】

九州大学

- 01) 九大概要
- 02) 入試概要
- 03) AO入試の性質
- 04) 21世紀プログラム
～学部横断型教育～

その他

- 21) 大学への入学に何を期待するのか
- 22) モチベーションの持たせ方
- 23) 文理選択時期。早期化に対する危惧。
- 24) 「ゆとり世代」、「内向き」という呼称
- 25) 就学援助率と成績の関係
- 91) 研究会、勉強会、意見交換会
- 99) 高校教員への期待

高大連携

- 11) オープンキャンパス
- 12) 進学説明会
- 13) 大学訪問: 生徒、PTA
- 14) 出前講義
- 15) SSH (Super Science High School)

11.

Open Campus 2014

- ◆ 8月2日(土)
 - ◆ 理系、21cp
- ◆ 8月3日(日)
 - ◆ 文系、21cp、
基幹教育
- ◆ 8月4日(月)
 - ◆ 医系
- ◆ 8月5日(火)
 - ◆ 21cp独自



11. オープンキャンパス

- ◆ おかげさまで多くのご参加
 - ◆ 何を期待されているのだろうか?
- ◆ 平日に訪問されませんか? (むやみには建物内に立ち入らないようにお願いします。)
 - ◆ 名称が混乱の元? O.SchoolとO.Cの違い
 - 大学は Everyday, Everytime オープンです
 - ◆ 高校生を見に来ている現状
- ◆ 「探検」、「散策」、「近場」の目的地に如何?
 - ◆ 学食で昼食をとって、構内を散策
 - ◆ できれば2~3人、少人数。譲歩して遠足で。
- ◆ ご訪問の目的は? 平日じゃダメ?
 - ◆ 大学生を見に来ませんか?

12. アドミッションセンターとしての活動

- ◆ AO入試の支援: 入試実施委員会、入学者選抜方法研究会
- ◆ 進学説明会:
 - ◆ 鹿児島(6/4)、長崎(6/11)、大分(6/12)、愛知(6/14)、東京(7/13)、大阪(7/20)
 - ◆ 愛知(8/9)、広島(8/16)、北海道(8/24)、福岡(9/14): 講演あり
- ◆ 高校生来訪での講演、説明など
 - ◆ 福岡: 福岡県立筑前高等学校, 2年生 80名+4名, 06/19
 - ◆ 山口: 山口県立下関南高等学校, 2年生 42名+2名, 07/11
 - ◆ 福岡: 福岡市立福岡西陵高等学校, 2年生 40名+2名, 09/17
- ◆ 高校保護者来訪での講演、説明など
 - ◆ 福岡: 福岡県立山門高等学校PTA, 37名+3名, 07/02
 - ◆ 佐賀: 佐賀県立伊万里高等学校PTA, 30名+5名, 09/10
 - ◆ 福岡: 福岡県立筑紫丘高等学校PTA, 100名+2名, 09/18
- ◆ 高校等へ出向いての講演、説明など
 - ◆ 福岡: 私立福岡舞鶴高等学校, 97+20名, 06/28
 - ◆ 山口: 山口県立下関南高等学校, 35名, 07/25
 - ◆ 鹿児島: 鹿児島県立武岡台高等学校, キャリアアップセミナー, 教員 30名, 07/28

◆ 「高校と大学の接続に関して思うこと ~あるアドミッションセンター教員の独り言~」

No.	日	時	開催日	開催時間	名称	会場	主催	協賛	主催・協賛団体等	備考
1	○	○	2014/4/21	月 14:00-19:00	大学入試・入学説明会	福岡	福岡県立総合高校		① 福岡県立総合高校	
2	○	○	2014/6/27	水 15:00-19:00	九州・山口地区進学説明会	福岡	西日本総合総合高校 新館NAMIC6 (北九州)		① 福岡県立総合高校 ② 福岡県立総合高校 ③ 福岡県立総合高校	
3	○	○	2014/6/4	水 15:30-18:30	九州・山口地区進学説明会	福岡	クワイエーター・アザリス		① 福岡県立総合高校 ② 福岡県立総合高校	
4	○	○	2014/6/5	木 15:00-19:00	九州・山口地区進学説明会	福岡	MRT 福岡		① 福岡県立総合高校 ② 福岡県立総合高校	
5	○	○	2014/6/9	月 13:00-18:30	春季進学ガイダンス(専門学校連携)	福岡	ホテルニューグランド2階		① 福岡県立総合高校 ② 日本経済大学	
6	○	○	2014/6/11	水 15:30-18:30	九州・山口地区進学説明会	長崎	パストレススタンプレアホテル長崎		① 福岡県立総合高校 ② 福岡県立総合高校	
7	○	○	2014/6/12	木 14:30-18:30	九州・山口地区進学説明会	大分	トキハビル		① 福岡県立総合高校 ② 福岡県立総合高校	
8	○	○	2014/6/29	日 10:00-17:00	進学ガイダンスの概要	熊本	メルパルク熊本		① 九州大学 ② 熊本大学 ③ 熊本県立大学 ④ 熊本県立大学	
9	○	○	2014/7/6	日 11:00-17:00	九州地区国立大学説明会	福岡	エルザ・ホール		① 国立大学協会九州支部	
10	○	○	2014/7/12	土 11:00-17:00	九州地区国立大学説明会	熊本	くまもと県民文化センター		① 国立大学協会九州支部	
11	○	○	2014/7/13	日 11:00-17:00	全国国立・有私大説明会	東京	ワンシャインシティ文化会館 (有明)		① 福岡県立総合高校	
12	○	○	2014/7/19	土 11:00-16:00	全国国立・有私大説明会	愛知	名古屋国際会議場 (名古屋)		① 福岡県立総合高校	
13	○	○	2014/7/20	日 11:00-16:00	全国国立・有私大説明会	大宮	大宮国際会議場		① 福岡県立総合高校	
14	○	○	2014/7/27	日 11:00-16:00	全国国立・有私大説明会	神奈川	パシフィコ横浜 (横浜)		① 福岡県立総合高校	
15	○	○	2014/8/7	木 10:00-18:00	進学ガイダンスの概要	広島	広島国際会議場		① 九州大学 ② 熊本大学 ③ 熊本県立大学 ④ 熊本県立大学	
16	○	○	2014/8/9	土 10:00-16:40	主要大学説明会	愛知	名古屋国際会議場 (名古屋)		① 九州大学	
17	○	○	2014/8/16	土 10:00-16:40	主要大学説明会	広島	広島国際会議場		① 九州大学	
18	○	○	2014/8/17	日 10:00-16:40	主要大学説明会	大宮	大宮国際会議場		① 九州大学	
19	○	○	2014/8/20	木 10:00-16:40	主要大学説明会	新潟	新潟マッセ		① 九州大学	
20	○	○	2014/8/24	日 10:00-16:40	主要大学説明会	北塚	大学共有利用施設ACU (北塚)		① 九州大学	
21	○	○	2014/8/30	土 10:00-16:40	主要大学説明会	東京	大田区産業プラザ		① 九州大学	
22	○	○	2014/8/14	日 10:00-16:40	主要大学説明会	福岡	福岡国際会議場		① 九州大学	

12. 進路指導

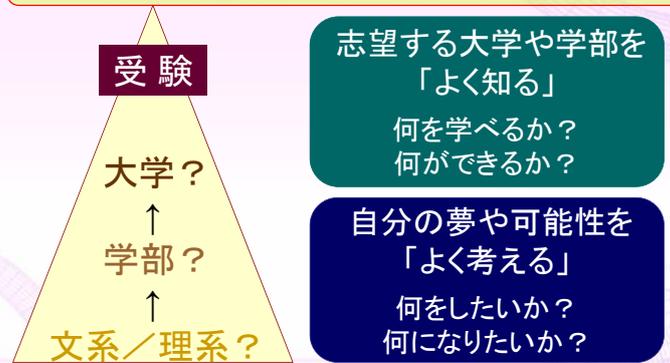
- ◆ 進学説明会で対応している「あれ??」
- ◆ どのような手順で行われている?
 - ◆ 時間軸の流れの中で
 - ◆ 高1の初夏、高3の初秋、...、中1の...
- ◆ 大学・学部を知る、調べてもらう
- ◆ いろいろな「学士」が存在 = 混乱?
 - ◆ 先生方にも理解してもらえていない?
 - ◆ 同僚、卒業生等を駆使してはどうか?

12. 進路指導

- ◆ 将来、何をやりたいのか?
 - ◆ 夢、可能性
- ◆ その夢はどこで実現できるのか?
 - ◆ 文系? 理系?
 - ◆ 学部の特徴
 - ◆ その学部を有している大学
- ◆ 学年と共に進化、深化、変化
- ◆ 「画一的」、「一般的」な質問を指示?

大学をどう選ぶ

九州大学も選択肢に加えていただければ!



12. 進路指導

- ◆ 将来、何をやりたいのか?
 - ◆ 夢、可能性
- ◆ その夢はどこで実現できるのか?
 - ◆ 文系? 理系?
 - ◆ 学部の特徴
 - ◆ その学部を有している大学
- ◆ 学年と共に進化、深化、変化
- ◆ 「画一的」、「一般的」な質問を指示?

67

13. 14. アドミッションセンターとしての活動

- ◆ AO入試の支援: 入試実施委員会、入学者選抜方法研究会
- ◆ 進学説明会:
 - ◆ 鹿児島(6/4)、長崎(6/11)、大分(6/12)、愛知(6/14)、東京(7/13)、大阪(7/20)
 - ◆ 愛知(8/9)、広島(8/16)、北海道(8/24)、福岡(9/14): 講演あり
- ◆ 高校生来訪での講演、説明など
 - ◆ 福岡: 福岡県立筑前高等学校, 2年生 80名+4名, 06/19
 - ◆ 山口: 山口県立下関南高等学校, 2年生 42名+2名, 07/11
 - ◆ 福岡: 福岡市立福岡西陵高等学校, 2年生 40名+2名, 09/17
- ◆ 高校保護者来訪での講演、説明など
 - ◆ 福岡: 福岡県立山門高等学校PTA, 37名+3名, 07/02
 - ◆ 佐賀: 佐賀県立伊万里高等学校PTA, 30名+5名, 09/10
 - ◆ 福岡: 福岡県立筑紫丘高等学校PTA, 100名+2名, 09/18
- ◆ 高校等へ出向いての講演、説明など
 - ◆ 福岡: 私立福岡舞鶴高等学校, 97+20名, 06/28
 - ◆ 山口: 山口県立下関南高等学校, 35名, 07/25
 - ◆ 鹿児島: 鹿児島県立武岡台高等学校, キャリアアップセミナー, 教員 30名, 07/26
 - ◆ 「高校と大学の接続に関して思うこと ~あるアドミッションセンター教員の独り言~」

68

13. 14. 大学訪問、出前講義

- ◆ 何の提供を期待されているのか?
- ◆ 高校教育の一環として位置付けられているのか?
 - ◆ 訪問の目的は? 教員間で共有されている?
 - ◆ 「総合的学習の時間」の安易な消化に使われてはいないか?
- ◆ 高校教員の“体力”の減衰に つながらないのか?
 - ◆ 日頃生徒に接しているのは高校教員
- ◆ 輸出過多ではないか?

69

15. SSH (Super Science High School)

- ◆ 鹿児島県立錦江湾高等学校
- ◆ 学校法人池田学園 池田中学・高等学校
- ◆ 全国で200校程度
 - ◆ 先生方のご努力は相当のもの
 - ◆ 学校間に濃淡があるのではないか?
- ◆ 科学者の未来は明るい?
- ◆ 科学立国の一翼を担える?
- ◆ SGH (Super Global Highschool) はどうなるの?

70

- ◆ ご質問は何なりと



71

【講演内容(案)】

九州大学

- 01) 九大概要
- 02) 入試概要
- 03) AO入試の性質
- 04) 21世紀プログラム
~学部横断型教育~

高大連携

- 11) オープンキャンパス
- 12) 進学説明会
- 13) 大学訪問: 生徒、PTA
- 14) 出前講義
- 15) SSH (Super Science High School)

その他

- 21) 大学への入学に何を期待するのか **別ファイル**
- 22) モチベーションの持たせ方
- 23) 文理選択時期。早期化に対する危惧。
- 24) 「ゆとり世代」、「内向き」という呼称
- 25) 就学援助率と成績の関係 **別ファイル**
- 91) 研究会、勉強会、意見交換会
- 99) 高校教員への期待

72

23. 文理選択時期

- ◆ 高校2年生に進級時に選択が多いようだ
- ◆ 文理に分けることの意味
- ◆ 高校への進学率が98%：一種の義務教育
- ◆ 勉強しない領域が出てしまう
 - ◆ 文系における数学等
 - ◆ 行き過ぎた多様性では？
- ◆ 早期化は日本国にとって許容できるのか？
- ◆ 大学入試の弊害？ 大きく入り試なら是正可能？

73

24. 世間で言われていること

- ◆ 若者に対して「ゆとり世代」、「内向き志向」と
- ◆ 不誠実な言葉。失礼な呼称。
 - ◆ 逃げに使っているフシも散見
- ◆ 18年間という時間
 - ◆ 「教科書が異なる」、「厚みが異なる」、.....
 - ◆ 世代に関係なく同じ
 - ◆ 習得しているものが異なる
 - ◆ その評価方法が判らない・解らない≠勉強してない
- ◆ 若者に対する批判：昔からの繰り返しでしか
- ◆ もう「学生」です。「大人」です。

74

24' 「地元志向(内向き指向?)」の是正

- ◆ 北大と京大、九大の違い
 - ◆ 北大：札幌 34.9%、北海道 51.0% (2010年)
 - ◆ 京大：京都 10.0%、近畿 55.8% (2006年)
 - ◆ 九大：福岡県内 40.4%、九州 75.0% (2011年)
- ◆ 「県内の大学、九州の大学」の希望の多さ
- ◆ 「島(九州)の外」に出しませんか？
- ◆ 「若いうちに旅」、「可愛い子に旅」をさせませんか？
- ◆ 考慮点：経済的事情、ご家庭の事情
- ◆ 九大の交換留学者数：約300人/年

75

九州大学の出身地別入学者数

出身県	H21(2009) 人数 割合	H22(2010) 人数 割合	H23(2011) 人数 割合	H24(2012) 人数 割合	H25(2013) 人数 割合	H26(2014) 人数 割合
北海道				13 0.5		15 0.6
埼玉県				15 0.6		
千葉県	14 0.5	13 0.5	11 0.4	16 0.6	36 1.3	34 1.3
東京都				17 0.6		11 0.4
神奈川県						
静岡県			11 0.4	13 0.5	13 0.5	15 0.6
愛知県		26 1.0		26 1.0	28 1.0	28 1.0
滋賀県		10 0.4			10 0.4	11 0.4
京都府		15 0.6		17 0.6	15 0.6	17 0.6
大阪府	20 0.8	24 0.9	28 1.0	39 1.5	37 1.4	37 1.4
兵庫県	35 1.3	60 2.3	52 1.9	64 2.4	62 2.3	61 2.3
奈良県					15 0.6	15 0.6
和歌山県					12 0.4	10 0.4
鳥取県	12 0.5	16 0.6	20 0.7	18 0.7	23 0.9	16 0.6
島根県	17 0.6	31 1.2	28 1.0	32 1.2	22 0.8	21 0.8
岡山県	60 2.3	70 2.7	59 2.2	68 2.5	68 2.5	66 2.5
広島県	119 4.5	102 3.9	121 4.5	151 5.6	131 4.9	142 5.3
山口県	99 3.7	98 3.7	93 3.4	83 3.1	80 3.0	115 4.3
徳島県			16 0.6		15 0.6	
香川県	26 1.0	15 0.6	15 0.6	17 0.6	28 1.0	22 0.8
愛媛県	67 2.5	67 2.6	72 2.7	65 2.4	77 2.9	55 2.0
福岡県	1086 41.1	1072 40.9	1092 40.4	1041 38.9	1086 40.4	1061 39.5
佐賀県	152 5.7	140 5.3	151 5.6	126 4.7	101 3.8	108 4.0
熊本県	221 8.4	219 8.4	226 8.4	175 6.5	196 7.3	166 6.2
鹿児島県	185 7.0	145 5.5	155 5.7	161 6.0	138 5.1	154 5.7
大分県	134 5.1	122 4.7	123 4.6	114 4.3	111 4.1	108 4.0
宮崎県	99 3.7	110 4.2	104 3.9	78 2.9	77 2.9	86 3.2
鹿児島県	167 6.3	150 5.7	148 5.5	164 6.1	140 5.2	152 5.7
沖縄県	23 0.9	21 0.8	26 1.0	24 0.9	22 0.8	30 1.1
合計	2644 100.0	2618 100.0	2700 100.0	2679 100.0	2687 100.0	2688 100.0
九州8県	2067 78.2	1979 75.6	2025 75.0	1883 70.3	1871 69.6	1865 69.4

(「全選抜」が10名以上の都府県。最近6年)

76

91. 研究会、勉強会、意見交換会

- ◆ 同類の事例、他県の状況、意見交換
- ◆ 九州地区国立大学・高等学校連絡協議会
 - ◆ 九州地区の国立大学と高校代表者の集まり
- ◆ (九大と福岡県教育委員会の協定)
- ◆ 佐賀県高等学校進学指導部会 受験指導研究会
 - ◆ 佐賀県内の高校教員の集まり
- ◆ 日本中等教育ネットワーク
 - ◆ 主に中国四国地区の高校教員の集まり

77

高校との協議会

- ◆ 九州地区国立大学・高等学校連絡協議会
 - ◆ 2010年6月21日(月)、熊本で開催
 - ◆ 2011年6月20日(月)、鹿児島で開催
 - ◆ 2012年6月18日(月)、小倉で開催
 - ◆ 2013年6月17日(月)、大分で開催
 - ◆ 2014年6月23日(月)、宮崎で開催
- ◆ 高校側からの質問に大学側が答える
 - ◆ 協議事項、質問事項
 - ◆ なぜか逆側の質問・回答が無い
- ◆ 意外と知られていないのではないかと

78

91. 研究会、勉強会、意見交換会

- ◆ 同類の事例、他県の状況、意見交換
- ◆ 九州地区国立大学・高等学校連絡協議会
 - ◆ 九州地区の国立大学と高校代表者の集まり
- ◆ (九大と福岡県教育委員会の協定)
- ◆ 佐賀県高等学校進学指導部会 受験指導研究会
 - ◆ 佐賀県内の高校教員の集まり
- ◆ 日本中等教育ネットワーク
 - ◆ 主に中国四国地区の高校教員の集まり
 - ◆ 3月下旬に岡山で開催

79

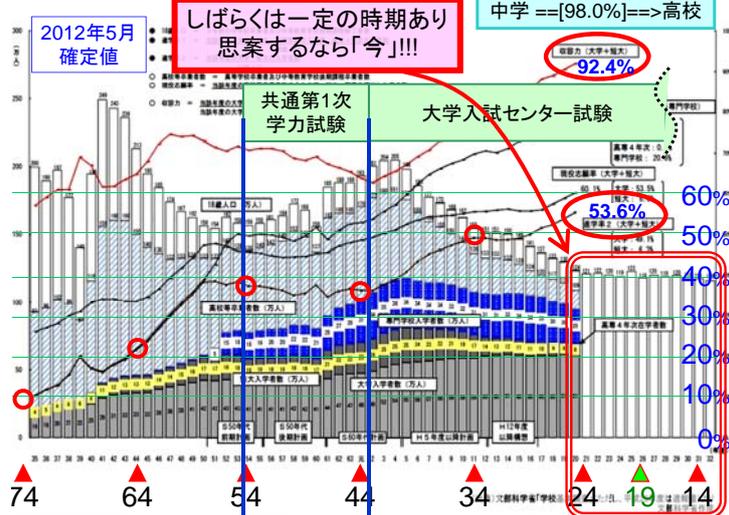
99. まとめに代えて

- ◆ 参考にしていただける事項は?
 - ◆ ほんの多少なりとも
 - ◆ 皆様のご検討の参考になれば
 - ◆ いろいろな議論の下地になれば
- ◆ 学生: 高校と大学の受け渡し
 - ◆ 「相互に理解」する必要
- ◆ より良い「受け渡し方法」の **実現**を目指して
- ◆ **一緒に考えて行きませんか?**



80

18歳人口及び高等教育機関への入学者数・進学率等の推移



【おまけ】入試“技術”

- ◆ 過去の経験から
- ◆ 答案の書き方
 - ◆ 「計算用紙」ではない
 - ◆ 他人への説明になっている?
 - ◆ 整理された & 論理だった展開
 - ◆ 濃い字、大きな字
- ◆ 面接
 - ◆ 自分の考えを表現
 - ◆ 「体言止め」をせず言い切る
 - ◆ 大きな声で

82

私からの質問: 大学人としての疑問

- ◆ 「ここまでも多様化した入試」は歓迎?
- ◆ 入試科目は多い方が or 少ない方が良い?
- ◆ 今後の統一試験のあり方は?
- 多様化された「高校の課程」は、歓迎?
- 多様化された高校入試(中高接続?)は、歓迎?
- 高校教育の(現実的な)理想型は?
- 高大接続のグランドデザインは?

83



「高校と大学の接続に関して思うこと
～あるアドミッションセンター教員の独り言～」



ご清聴ありがとうございました

多少なりとも
参考にしていただければ幸いです

林 篤裕 (Atsuhiko Hayashi)

九州大学 基幹育院
& アドミッションセンター
(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp

住所: 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

Tel: 092-642-4489 / Fax: 092-642-4485



84